

コーヒー片手に 身近なサイエンスの集い



サイエンスカフェ イン 名古屋

<https://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/>

第152回 理科教員が非科学的な存在たちを語る時
2025年 ~科学教育と妖怪文化の狭間で~

11/7(金)
午後6~8時

話題提供者：島田 尚幸 氏

私立東海中学校・教諭
あいち妖怪保存会・共同代表

場 所：円頓寺商店街「和水香庵」(NAGOMI KOAN)
名古屋市西区那古野1-20-28 Endoji Square1F-1
(裏面の地図を参照)

喫茶代：実費(1500円：ドリンク + お菓子)

定 員：15名程度(予約優先です。空席があれば当日参加も可能ですが、先着順となります。)

お申し込み 右下のQRコードから、
オンラインにてお申込ください。

参加申込フォーム



または、お名前、ご希望の開催日を、下記いずれかにてご連絡ください。

電子メール：scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp

電話：052-872-3461 (山の畑事務室 ※平日のみ)

申込期限：2025年10月31日(金)

お話のあらすじ

「妖怪を調べ、伝える活動をしています。普段は学校の教員をしています」そんな自己紹介をすると、決まって国語か社会の教員と思われれます。多くの方からは、自然科学を探究し教える立場と、「妖怪」は相入れないものとして捉えられているようです。

実際のところ、どうなのでしょう。

妖怪文化の楽しみ方から、今の子どもたちが自然や科学をどのように捉えているかまで、それぞれの視座から見えるものを交差させてみたいと思います。

